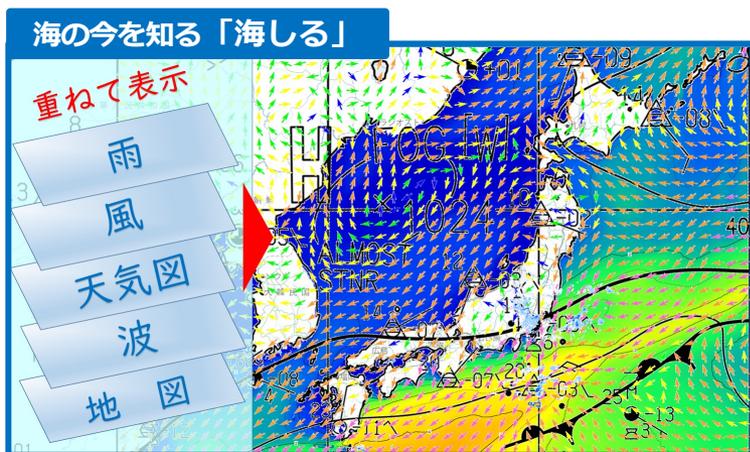


- 「海しる」はブラウザ（Microsoft Edge、Google Chrome）上で、さまざまな海洋に関する地理空間情報を一元的に閲覧することができる情報サービスとしてスタート
- 「海しる」を海のデータ連携のハブとして活用することで、水産業などの業際を越えたデータの連携を強化し、各分野の成長産業化や新たな産業の創出を推進



出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp/>)より作成、情報提供元：国土地理院、気象庁

地図上に様々な海の情報を重ねてご覧いただけます！

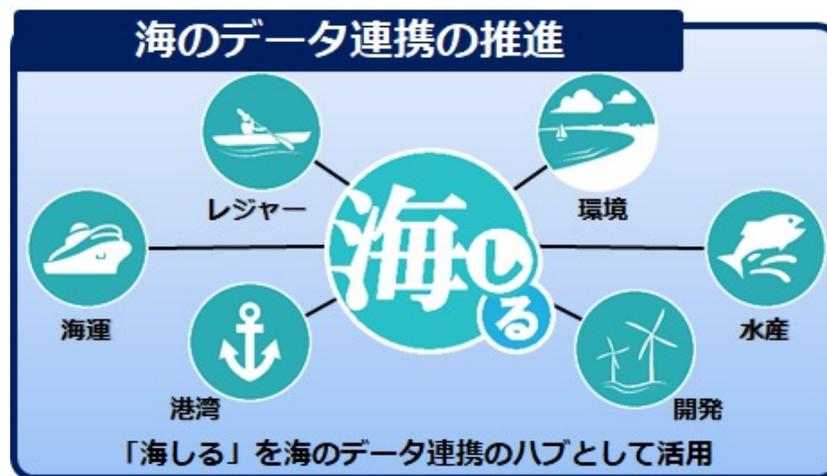
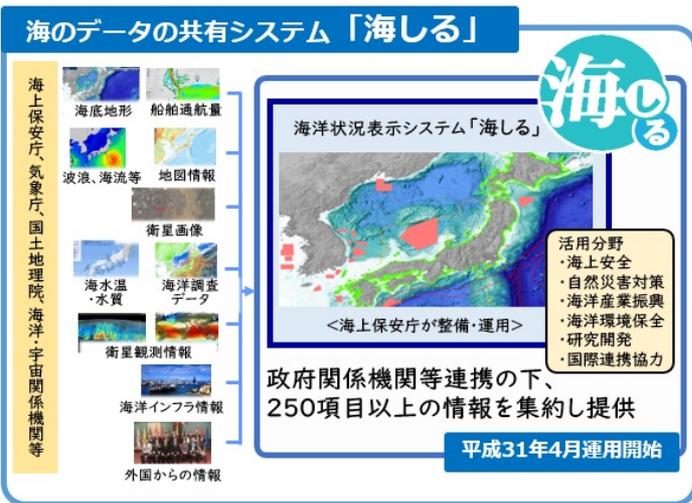


マスコットキャラクター「うみしる」



海しる <https://www.msil.go.jp/>

スマホ版海しる
(令和2年3月公開)

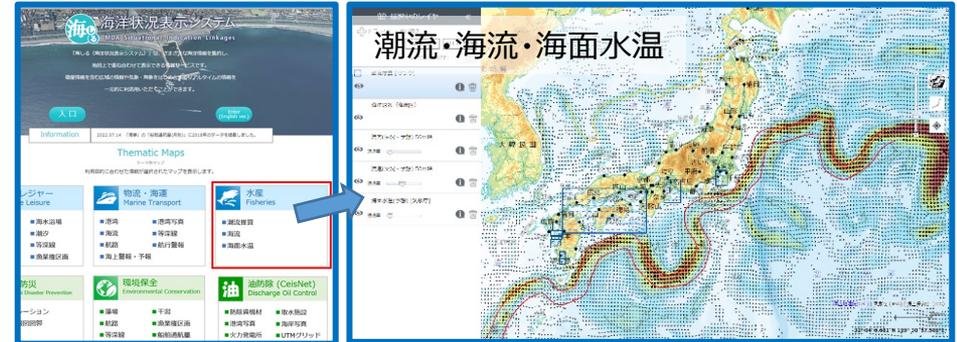
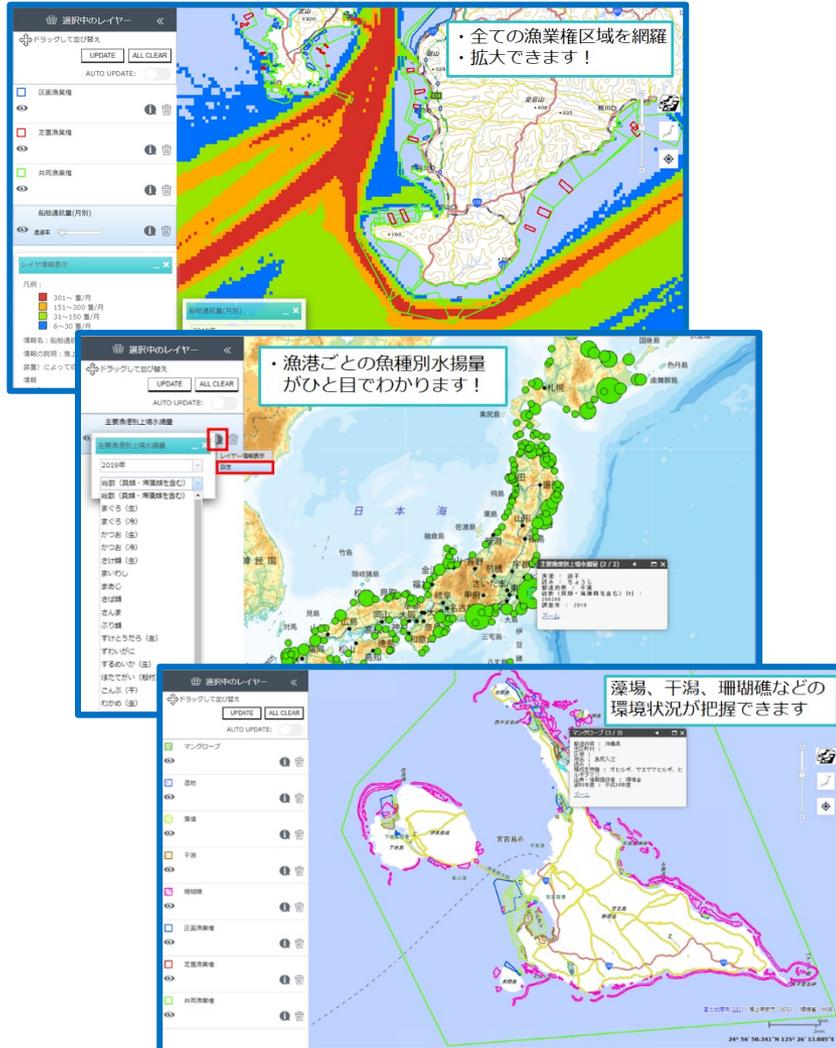


- 「海する」には、漁業に関する情報や気象、海象、環境等に関する情報を多数掲載
- 地域における漁業実態や漁場環境の把握、安全な操業確保に向けての啓発など利用シーンも多様

<表示例（漁業関係）> GISにより情報を可視化して提供

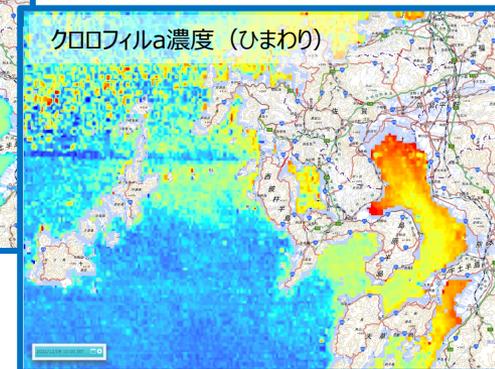
<ニーズの高い海象等のリアルタイムの情報を掲載>

- 「海する」トップページのテーマ別マップから水産に関する情報のみをワンクリックで表示



海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp/>)より作成
 情報提供元：国土地理院、海上保安庁、気象庁

- 衛星によるリアルタイム情報も新規に掲載（令和4年2月）



海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp/>)より作成
 情報提供元：国土地理院、海上保安庁（上・下図）、水産庁（中図）、環境省（下図）

海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp/>)より作成
 情報提供元：国土地理院、JAXA

■ 海洋教育の推進に向けて、小中学生やその教職員向けに、「海しる」を操作しながら 海洋についてインタラクティブに学べる「海洋教育コンテンツ」を公開（令和4年9月）

海しるを使って海について学びましょう！



教科・単元から探す

	理科	社会/地理・公民
小学3年生	・風のはたらき	・市の様子
小学4年生		・都道府県の広がり ・地震からくらしを守る
小学5年生	・台風の動きと天気の変化	・わたしたちの国土 ・水産業のさかんな地域 ・工業生産を支える輸送と貿易 ・わたしたちの生活と環境
小学6年生	・月の形と太陽 ・土地のつくりと変化 ・環境を守る	
中学1年生	・火山とともにくらす ・地震にそなえるために	【地理】 ・日本の山地、海岸と周辺の海、海流 ・日本のさまざまな自然災害
中学2年生	・気象の観測	・日本のエネルギーと電力
中学3年生	・エネルギー資源の利用 ・自然環境の調査と保全	・日本の漁業 【公民】 ・領土をめぐる問題

知りたいテーマを選んでクリック！

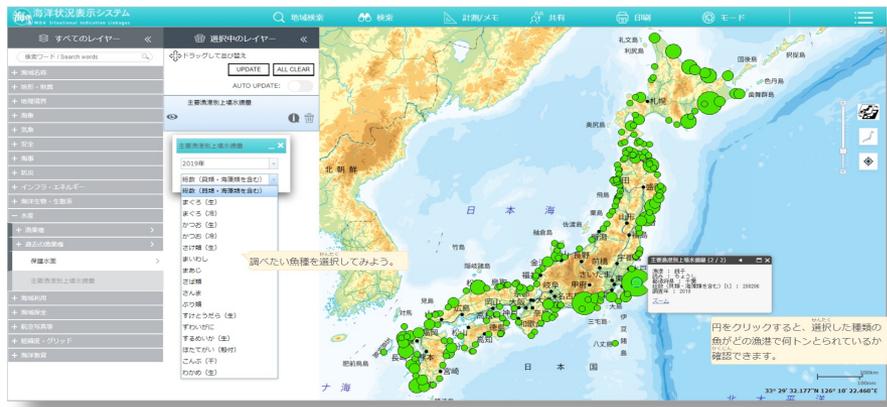
日本の漁業

クリック！
「海しる」の使い方をわかりやすく解説します。

海しるの操作方法

日本の周りでは多くの魚がとられています。

海しるで「水産」→「主要漁港別上場水揚量」を選択し、各地域でとられている魚の種類や、地域ごとの特色などについて調べてみましょう。



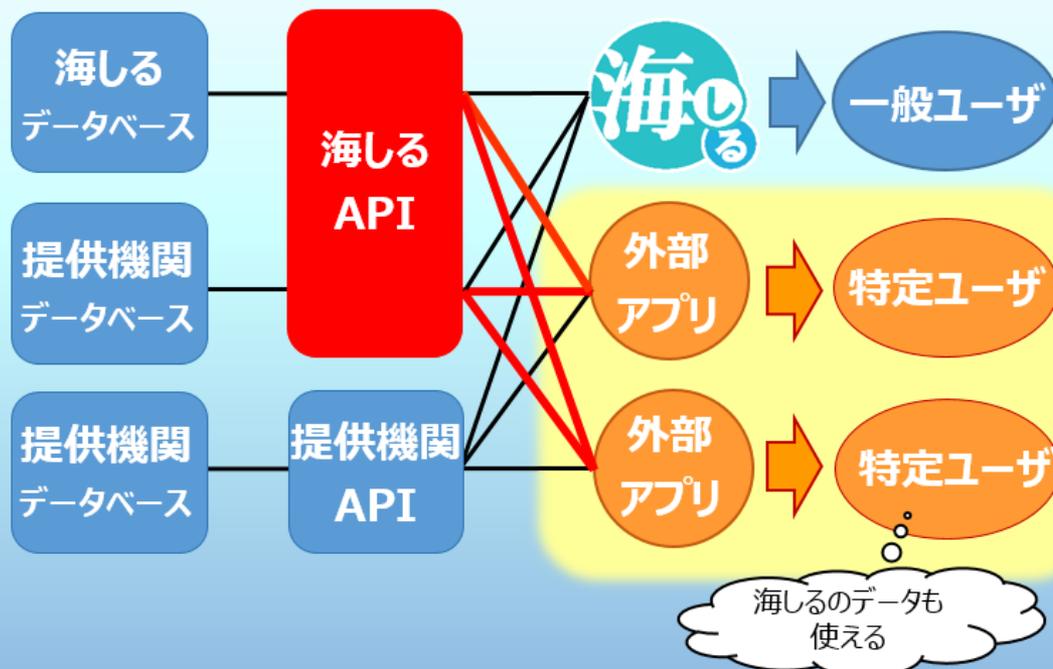
クリック！
関連情報が選択された「海しる」マップが表示。
「海しる」を操作しながら学べます。

海しるのアイコンをクリックして地図で見よう！>>>



- 令和4年2月に、「海しる」API(Application Programming Interface)を公開
- APIとは、ソフトウェアやアプリケーションの一部を外部に向けて公開することで**他のソフトウェアと機能を共有**できるようにするもの
- 「海しる」APIで**データ取得部分を公開**することにより、見るだけの「海しる」だけでなく、**外部のアプリやシステムが「海しる」データを直接扱える**ようになり、**分野間のデータ連携を推進**

「海しる」APIによるデータ連携の推進



外部アプリやシステムでの使用例

